

小泊地区

小泊をおもしろくする

地域づくりプラン

2020



【代表あいさつ】～地域づくりプランの目指すところ～

小泊地区に於いては昨年以來論議を重ねて「地域づくりプラン」の基本的な方向が煮詰められてきました。

- 1 経済循環の小泊、
- 2 地域文化の小泊、
- 3 暮らし易い小泊、
- 4 挑戦する小泊、
- 5 人間くさい小泊

の実現を大きな「理念」に据えています。

現状から予測する地域の将来には不安の要素は数え切れません。

「ならばどうする」が私達の課題です。

良かった昨日を語り合い。楽しい明日を語り合い。みんなで「先人」に感謝しながら明るい未来を語り続けましょう。

このプランづくりの過程が、その為の参考になるように！！

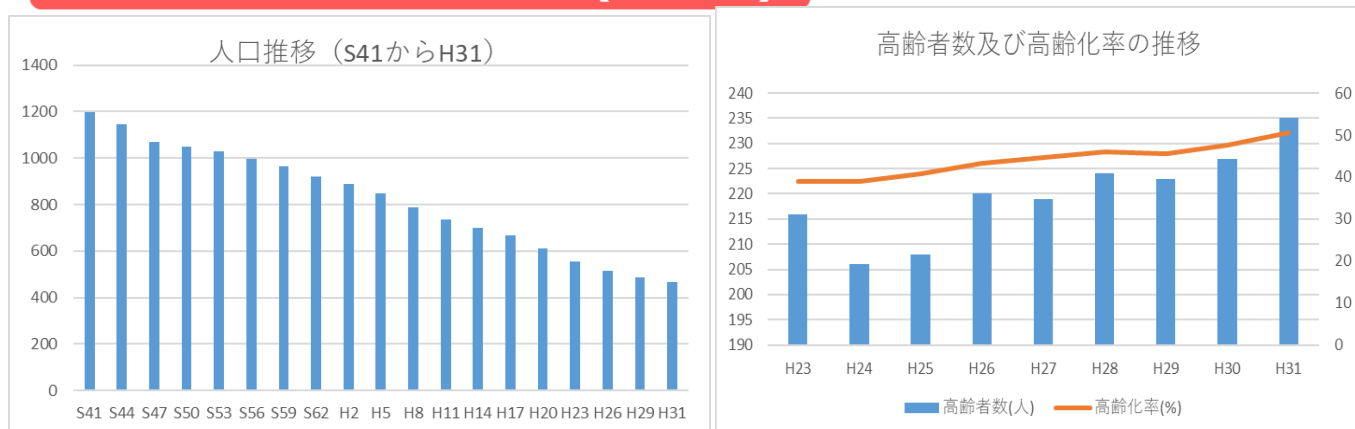
こどもりん 代表 清水岩夫

小泊地区の概要

平成31年4月1日現在

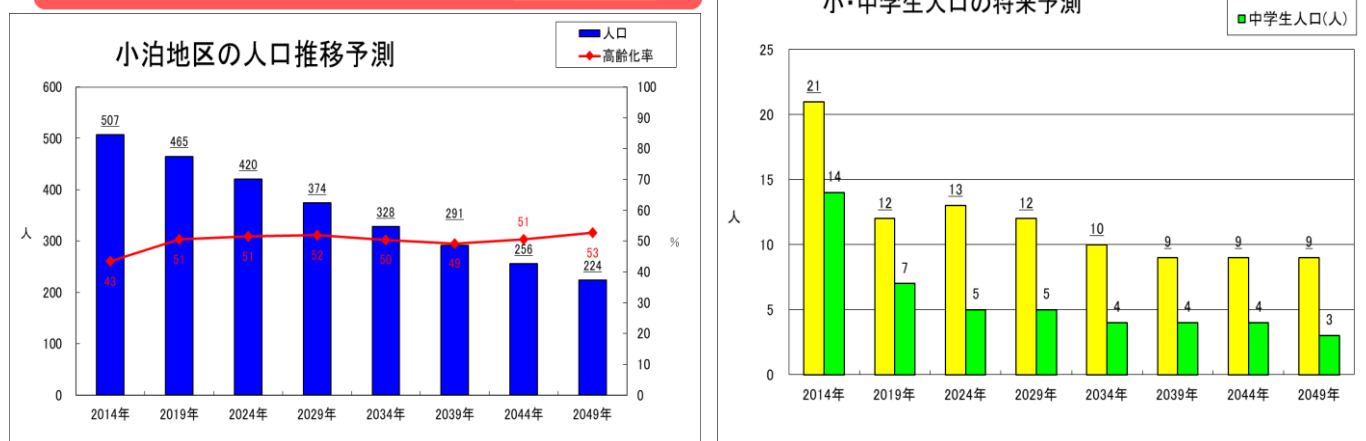
◆人口	465名	◆集落数	6区
◆世帯数	191世帯	◆高齢化率(65歳以上)	50.54%
【参考】 旧能生町の人口ピーク時は、昭和20年代で約20千人。現在の能生地域では8千人。6割の減である。小泊地区も同様に少子高齢化になっている。 人類が経験したことがない、災害や戦争ではない理由で、人口減少が加速度的に進んでいる。			

小泊地区の人口等の推移(今まで)



昭和41年には約1,200人だった人口は平成31現在465人となり、昭和41年よりも6割以上減っている。
 高齢者(65歳以上)は年々増え続け、H31年は高齢化率50%を超えた(半数以上が65歳以上となった)。

小泊地区の人口推移予測※



今後は高齢化率は50%近辺で推移し、高齢者数も減少していく。今後も加速度的な人口減少が懸念されます。予測では、30年後は現在の半分以上の人口になることが予測されます。

少子化が進み、中学生以下は現在19名から30年後には12名になると予測されます。
 特に若者の流出が懸念されます。

※予測は、コーホート変化率を用いています。

能生小泊をおもしろくする
小泊プラン 2020

小泊地区地域づくりプラン2020-2024 糸魚川市

五層の**理念**

小泊は、港の狭い斜面にギュッと密集し、五段飾りになっている集落です。その形に合うかのように、まちづくりの目的も五層になりました。

稼げ、賑わう海のまちにしたい。
〈経済循環の小泊〉

小泊文化を守り、地形から水産資源まで
全ての資源を生かせるまちにしたい。
〈地域文化の小泊〉

安心安全な暮らしやすさをみんなで
つくる小泊にしたい。
〈暮らしやすい小泊〉

何でも言えて、何でもトライできる
小泊にしたい。
〈挑戦する小泊〉

顔の見える豊かな人間主義の小泊でありたい。
〈人間くさい小泊〉



小泊を おもしろくする

この地区は暮らしやすく、地区民がこの上なく幸せと感じるマチ。
それを外から羨ましいと思われるマチ。
そんな将来の小泊を目指し、地域づくりプランに取り組みます。

ワイワイ会議を進めていく中で、地区の課題を整理して、「ありたい小泊の将来」(未来像)を考えた時に5層から、大きく3つの展開にしばられました。この3つ展開をグループ対話で検討を深めてきました。

★小泊の魅力を再発見する★

- 【作戦①】「マップを作成し、小泊まち歩きファンの輪を長野県民へ向けて広げる」
- 【作戦②】「屋号表札をデザインし、案内板を整備する」
- 【作戦③】「空き家活用プランをやんわりと進める」

★暮らしの助け合い活動を育てていく★

- 【作戦⑤】「助けてほしいことと提供できることをマッチングする仕組みをつくりあげる」
- ◎アンケート結果の報告
- ◎地域通貨の可能性（ゲーム感覚で楽しく）

★地域ビジネスを立ち上げる★

- 【作戦④】「イベント販売で地域が使えるお金を生み出す」
- ◎鮮魚などの加工・販売
- ◎小泊産。元気なお年寄りが育てた新鮮野菜の買取・販売

小泊地区 地域づくりプラン

小泊を持続 若者の地域参画

地域の持続性は、これからを担う若者です。若者の心に火をつけ、これからの小泊について真剣に話し合う場を設けます。若者がやりたいことを応援できる地域づくりプランを目指します。



全ては対話から。若者との対話を重ね、彼らのやりたいことを応援します。

- ・地区内にある汐路保育園と連携します。
- ・こども達の郷土愛醸成を目的に、保護者と連携します。

テーマ

小泊の魅力を地区内外にアピール

プロジェクト名

小泊の魅力再発見

事業の目的

小泊の魅力を地区内外にアピール。小泊のファンを増やし、交流人口の拡大を図る。

めざす
将来像

- ・ (仮称)「小泊魅力マップ」片手に観光客が「まち歩き」している
- ・ 案内看板や屋号表札などが整備され、まち歩きしやすくなっている
- ・ 空き家が活用され、移住者が少しずつ増えている

事業の概要

- ①小泊マップ作成、小泊「まち歩き」ファンを広げる
小泊のまち歩きができるマップを作成し、マリンドリーム能生で配布。
- ②案内看板や屋号表札などを整備
地区外客が「まち歩き」しやすいように整備する。
- ③空き家活用プラン
どのような手法がいいのか、今後の検討課題。



マップ
作成

小泊
魅力発信

看板表札
作成

空き家
活用

テーマ

暮らしの助け合い、共助！

プロジェクト名

楽しくつどい、明るい未来へ！

事業の目的

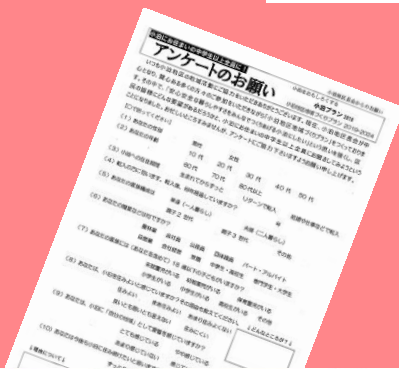
できる事を、できる人が少し、チカラを貸す。そんな共助の精神で、みんなが暮らしやすくなる。

めざす
将来像

- ・みんなが笑顔で、楽しく集っている
- ・お互いさま、共助の心をみんなで
- ・みんなが暮らしやすい、居心地が良い

事業の概要

- ①有償ボランティアの仕組みづくり
有力例として、「小泊地域通貨」の試験運用
- ②楽しい集いの充実
(仮称) こどもりんサロンの充実



【有償ボランティアの仕組み】
小泊地域通貨の試験運用

共助
暮らし
やすい

【楽しい集い】
こどもりんサロン

テーマ

Made in小泊で少し稼ぐ

プロジェクト名

こどもりん地域ビジネス

事業の目的

活動資金や個人の利益を地域ビジネスで少し稼いで、生きがいづくり

めざす
将来像

- ・地域ビジネスの活動で潤い、活動継続ができる
- ・地区民が少し潤う
- ・地区民の生きがいに繋がっている

事業の概要

①鮮魚などの加工・販売

中瀬館で加工し、マリンドリーム能生で販売する。実施期間をマリンドリーム能生のイベント時に合わせて行う。

②Made in小泊産 野菜等の買い取り・販売

元気なお年寄りが育てた新鮮野菜の買い取り。マリンドリーム能生にて、販売。

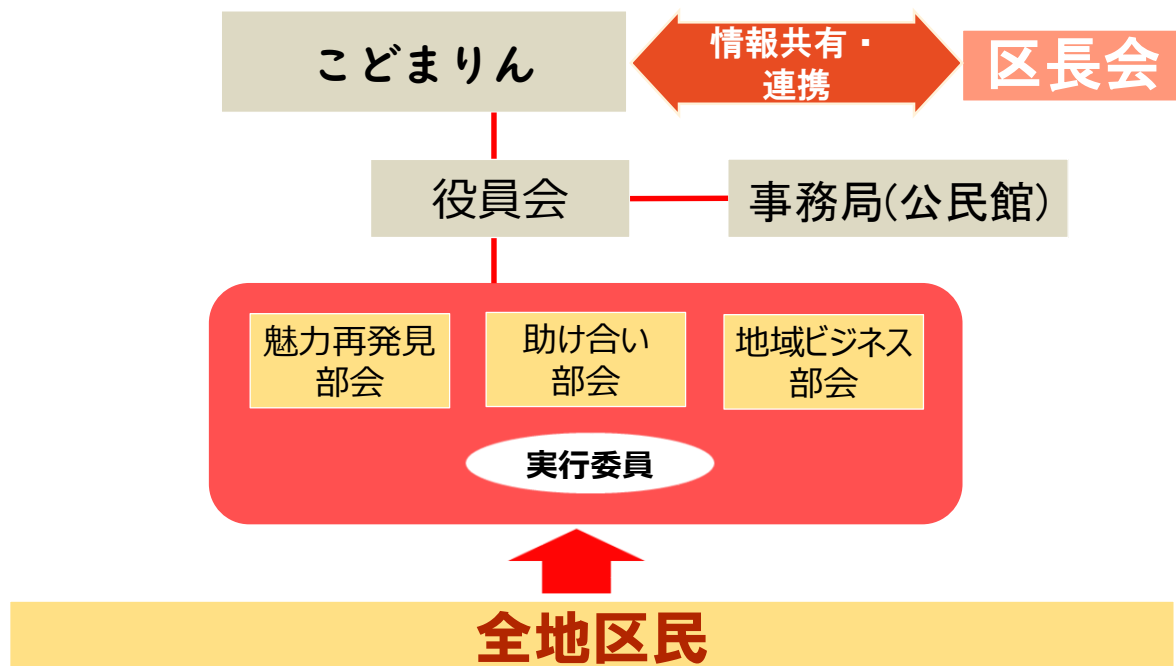


マリンドリー
ム能生で販売

ハハハ唐揚げ
あんこう汁
メギスのすり
身揚げ
など

新鮮な
地場野菜

活動推進体制



年度別事業予算

プランの対象期間は、2020年～2024年

収 入

(千円)

費 目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	合 計
市補助金	390	380	370	360	350	1,850
自己財源	40	60	70	100	150	420
合 計	430	440	440	460	500	2,270

支 出

(千円)

活動名	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	合計
魅力再発見部会	150	130	150	130	30	590
助け合い部会	50	80	70	20	20	240
地域ビジネス部会	130	120	120	120	120	600
総務部会	100	110	100	190	330	830
合 計	430	440	440	460	500	2,270

3つのテーマ【小泊の魅力を地区内外にアピール】
 【暮らしの助け合い、共助！】 【Made in小泊で少し稼ぐ】 名称：こどもりん

事務局：能生小泊地区公民館（〒949-1352 糸魚川市大字能生7567-7地先）

☎566-5314

✉ kodomariko@bz04.plala.or.jp